

令和7年度保育士を目指す学生向け 鯖江市の支援（応援金・事業など）

1 学生・新採用時の 応援金、就労奨励金



さばえミライ保育士応援金

保育士さんウェルカム事業

2 公私立全園対象の 働きやすい職場環境づくり



3つの巡回支援事業

公私立年齢別研修会等

サークルタイム

3 子どものための 保育者の学び事例



子どもの学びを支える

幼少接続

若手保育者の育成

鯖江市は、ミライの保育士を応援します。

～ 保育養成校学生への支援等 ～

鯖江市民対象 (保育養成校在学中)



鯖江市内の公私立保育所・こども園にて就職
する意思表示で、在学中に応援金支給対象。

1 さばえミライ保育士応援金

対象者： 鯖江市在住（過去含）でかつ県内外の保育養成校に在籍する学生

応援金： 短大生 150千円（申請時期：2年生 10月末）

4年大学 300千円（申請時期：3,4年 10月末）

※（各学校の）保育特別奨学生制度との重複OK！

要件： 公私立保育所等に正保育士として3年以上勤務

※ 上記対象者の要件については保育・幼児教育課までお問い合わせください。

私立保育所・こども園に就職する場合は、さばえミライ保育士応援事業と次の2、3の事業も該当。

私立保育所・こども園就職者対象（採用時）



住所地要件なし。

私立園の正規保育士採用で支給対象。

2 保育士さんウェルカム事業 1年目 200千円支給

対象者： 鯖江市内の私立園で働く新採用正保育士

奨励金： 住所地問わず200千円支給

※県外から転入の場合 300千円支給

要件： 正保育士として3年以上勤務

3 若手保育士への処遇改善手当 月額手当 3千円支給

対象者： 私立0～4年目の正保育士

支援策： 鯖江手当支給（月額3千円：4年間で144千円）



めがねのまちさばえ
Sabae Japan Eyeglasses

問合せ先 鯖江市保育・幼児教育課

TEL：0778-53-2225（課直通）

mail：hoikuyoji@city.sabae.lg.jp

鯖江市では、公私立全園対象の保育者への支援等をすすめています。

巡回支援による保育士等へのサポート



専門家により、気がかり児、保育運営・保護者対応等へ困り感等を包括的にサポート

保育士等への巡回支援事業

保育コーディネータが保育士の保育運営・保護者対応等へ困り感をヒアリング。助言や包括的なサポートを行う。※各園年1～4回

保育カウンセラー巡回支援事業

児童に関する発達相談やその支援体制を充実を目的にカウンセラーが園を巡回。児童への支援方法の見立て、保護者の支援方法、小学校への移行支援の方法等に対し、助言、指導を行う。※各園年1～4回

保育士等への働き方改革巡回支援事業

園内で見直したい業務等について話し合い、業務見直しによる負担軽減や定着管理のマネジメントの方法等、助言や指導を行う。 ※希望園年1～4回

保育の質・コミュニケーション力等の向上



職場から出て、他園の保育士と話す機会を。
保育の質を高めよう。

市内公私立合同研修等

公私立園が集うクラス年齢別研修、公開保育による学びあい等

鯖江市保育協議会

公私立保育所・認定こども園22園の保育従事者による協議会。保育の質の向上の研修や親子向けの子育て支援講座等を開催

サークルタイム事業（保育士等が集う・話せる場づくり）

公私立園の保育士が定期的に集まれる場所を提供。自由参加です。

R7年度は、鯖江市役所の5階クリエイティブステーションにて月1回程度開催予定

先生たちの学びの取り組みを紹介します。

～鯖江市公私立保育園(所)・こども園・幼稚園～

子どもの学びを支える保育者の学びあい

【目的】保育者の主体性

【ねらい】写真を通した語り合いから、子どもの遊びや環境構成について考える

- ・参加者 市内のすべての園から1、2名参加。経験年数は問わない。
- ・グループ編成 未満児と以上児に分ける。
- ・ファシリテーター 市町幼児教育アドバイザー認定者・園内リーダー
- ・付箋を用いた語り合い 写真から見取った遊びや参考にしたい環境構成さらに遊びが発展するための環境構成や援助の工夫

【テーマ】「環境構成について共に学ぼう・語り合おう」

＜工夫した点＞

- ・経験年数に関わらず語り合えるよう、グループ分けをした。
- ・開催時間は、無理なく参加できるように午睡時間中にした。
- ・語り合いたい遊びの写真に保育者の思い(ねらい)を書いて持ち寄った。
- ・保育者の主体性を引き出すアンケートを取り各園にフィードバックし園内研修につなげた。

フォトカンファレンス



語り合うことで
保育の幅が
広がった



こんな環境構成
真似してみたい

園でも付箋を用いた語
り合いをやりたい！



園でも
活用したい

一枚の写真をもとに出来上がった
フォトカンファレンス シート

【研修後のアンケートより】

- ・日々の保育について職員同士で話し合い、振り返り、再構成していくことが大切だと改めて学んだ。
- ・合同研修で学んだ環境について、園でも話し合い、子ども達の姿の理解を深めていきたい。
- ・しっかりと子どもの声を聞いて、子どもがしたいこと、子どもの発言から思いを読み取って子ども主体の保育をしたいと思った。

幼少接続の充実

【目的】子ども育ちの相互理解

各校区で年度当初にスタートカリキュラム作成、年に数回会議や連絡会
小学校教諭の園訪問、保育士・保育教諭・幼稚園教諭の学校訪問
教育課程の接続、交流活動の実施

《園訪問・子どもの学び見取りシートより》

【学校側】「やってみたい」「できるようになりたい」という思いをもって、
友達と話し合いながら取り組もうとする姿は、主体的・対話的な学びに
つながると感じた。

【園側】見取りシートの共有や教諭との話し合いの中で、子どもの育ち
や学びのつながりについての共通理解ができた。

学校へ：秋のおもちゃランド



園へ：1年生の園訪問交流

若手保育者の育成についての取組み

【目的】継続した学び

【ねらい】保育の楽しさを感じながら、
保育者同士のコミュニケーションを深め学びあう



6月、10月 保育を語る会ハートフル研修



年齢に応じた遊びの
つながりや育ちを共有し
保育に見通しができた



絵画研修・若狭町視察3日間



楽しく学びながら
保育の情報交換が
できてよかった



7月 リズム研修会

保育を見合って学ぼう会
9か園（公開）



身体も心もワクワク
できました！保育に
活かしていきたい

5月 山で遊ぼう

<工夫した点>

- ・日々の保育に活かせるように研修を企画する。
- ・園種を超えて参加できるようにする。
- ・アドバイザー認定者が積極的に参加し、若手保育者に寄り添いながら保育の楽しさを伝えていく。
- ・研修を継続して行い、保育者の学びが深まるようにする。

保育者としての課題・今後の取組み

- ・アドバイザー認定者同士や園内リーダーの連携を通し、市全体でさらに保育の充実を図る。
- ・研修後の成果や取り組みについての情報交換をし、学びを継続していくことで幼児教育の質の向上につなげていく。

鯖江市内の保育所等で保育士になる場合の応援金等まとめ

支給額早見表

区分	MAX 支給額	学生 区分	指定保育士 養成施設学生 (応援金)	私立保育所等就職 (就労奨励金・ 処遇改善手当)	公立 就職
鯖江市民	644千円	県内 学生	15-30万円 (公私立対象)	20万円 (私立)	144千円 /4年 —
	744千円	県外 学生	15-30万円 (公私立対象)	30万円 (私立)	
市民以外 であっても	344千円	県内 学生	—	20万円 (私立)	
	444千円	県外 学生	—	30万円 (私立)	
	申請の有無		有	有	無

※上記応援金、就労奨励金は、正規保育士として3年以上勤務することが条件です。
※応援金は、鯖江市内の公私立保育所等を目指す鯖江市民であれば、対象となります。